

全体評価

学長のリーダーシップの下、教員養成課程改革の一環として、学科設置による「新課程」の発展的解消や、「へき地・小規模校教育」等の地域貢献プロジェクトを推進するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

「戦略的・意欲的な計画」

認定された「戦略的・意欲的な計画」

教員養成の質の向上を図るための教育学部の抜本的組織改革を目指した計画。

第2期中期目標期間において、教員養成の質の向上を図るための教育学部の抜本的組織改革を目指した戦略的・意欲的な計画（平成25年度に中期計画を変更）を定めて積極的に取り組んでおり、平成25年度においては、教員養成機能の強化を図るため、学生の質の確保の観点から検討を重ね、平成26年度から「新課程」の入学定員を減じた上で、「学科」に改組するとともに、実践型カリキュラムへの転換に向けた取組を推進している。

【参考】 本学の基本的目標（中期目標 前文）

一人が人を育てる北海道教育大学

「北海道教育大学憲章」のもと、第1期中期目標期間の「大学再編」の成果と課題を踏まえ、学士課程及び修士課程の学位の質を保証する教育体制を実現する。そのために教員組織の抜本的改革、カリキュラム改革、大学院改革を進め、学校現場や地域の課題につながる実践的な研究を推進するとともに、学生支援を充実させ、「常に学生を中心とした（Students-first）」大学を目指す。

また、本学は次の5点に重点を置き、教育大学としての特色化を図る。

- ・教職大学院をはじめとして、教育に関する高度な専門的職業人と人間地域科学・芸術・スポーツに関する専門的知識技能を持ち幅広い教養を備えた職業人の養成を目指す。
- ・へき地・小規模校教育など学校現場や地域の課題の解決となる教育研究を重点的に進めることにより、国際的にも意義のある教育研究を実現する。
- ・地域の教育研究の拠点として、教育委員会等と連携し、教員免許状更新講習・地域連携事業等を積極的に推進し、「北海道になくてはならない大学」を目指す。
- ・国際化を経営戦略の一つの柱として位置づけ、学生の海外教育プログラムを開発し、留学生の積極的な受入れ、教育研究交流を組織的に進めるとともに、理数科教育等での国際協力事業を推進する。
- ・大学と一体となった附属学校の運営を推進し、学生の教育研究の場として積極的に活用するとともに、先導的・実験的な教育研究を実現する。

項目別評価

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

中期計画の達成に向けて順調に進んでいる
【注目される事項】

北海道教育委員会との連携を含めた教員養成機能強化に向けた取組を実施するために、大学の教員養成改革構想を「北海道教育大学教員養成改革の基本方針」として取りまとめるとともに、本改革構想を具体化するために「教員養成改革推進本部」を設置しているほか、大学独自のテニユアトラック制度を導入し、教員の多様性と質の確保を図っている。

(2) 財務内容の改善に関する目標

中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(4) その他業務運営に関する重要目標

中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる
【注目される事項（抜粋）】

公的研究費の不正使用防止に係る取組として、平成25年度から「公的研究費の不正使用防止に関する説明会」を全教員が受講するよう義務付け、出席しない教員には次年度の競争的資金等の申請・使用を認めないこととし、学内予算においても教員研究費を一切配分しないこととしているほか、公的研究費を含めたすべての研究費に関して不正使用を行わない旨の包括的な「誓約書」を全教員から提出させている。

II. 教育研究等の質の向上の状況

【注目される事項（抜粋）】

教員養成機能の充実・強化を図るための抜本的な改革の一環として、国際地域学科、芸術・スポーツ文化学科の改組案（4課程を1課程2学科に改組）を取りまとめ、平成26年度から全国に先駆けて「新課程」を発展的に解消することとしている。